



〈自分（たち）でつくるみんなの学校 ～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子

学校だより 令和5年度 No. 12

夢と希望をもち、語り合うことの大切さ

校長 原野 恵子

春の到来を思わせる暖かい日差しが降り注ぐ2月下旬。西部教育事務所より講師の先生お招きし、卒業を翌月に控えた6年生に、「命の授業 ～夢と希望について考えよう～」を行いました。子供たちは、「生きる」ことについて語られる先生の話をも、一言も聞き漏らすまいと身を乗り出して聴き、自分の夢や希望について考え、仲間と語り合いました。

以下に、授業を終えて記した子供の感想を紹介します。

どんなに頑張っても友達や家族がいれば大丈夫だと思いました。自分の気持ちを強くもち、他人だけでなく、自分も大切にすることも学びました。何があっても自分の夢をもとくと強く思いました。

私は自分の将来の夢について、誰にも言ったことがありませんでした。でも、この時間に打ち明けてみると、誰も笑ったりせず、みんな背中を押してくれました。前までは、志半ばだったけれど、本気で「夢を追いかけたい」と思えるようになりました。

私がたくさんの人に背中を押してもらったように、今度は私もたくさんの人の背中を押してあげられるようにしたいです。

全ての子供の感想の中に、互いの命を大切に、自分の夢をもち、その実現に向けて進む大切さに気付いたことが表現されています。読んで私の胸が熱くなりました。改めて、春の太陽のような明るい心をもち、未来に広がる無限の可能性を秘めた6年生であると嬉しく感じました。

人生の節目である卒業を控えたこの時期に、「夢と希望について考え、仲間と語り合う」という大変よい機会を与えていただいた講師の先生に深く感謝します。



「命の授業」の様子

学校では、年度末に向けて多くの行事を行います。今月の1日には、全校集会「卒業を祝う会」を開きました。5年生が中心となって企画・運営し、各学年が、招待状やプレゼント、踊りやクイズ、創作劇の出し物等を準備し、6年生に感謝の思いを伝えました。6年生は、お返しに「世界に一つだけの花」を歌唱し、お礼の気持ちを伝えました。温かい心の響き合いが、体育館いっぱいに広がるのが目に映るようであり、大変楽しい時間となりました。

18日には、卒業証書授与式を予定しています。立派に成長した6年生42名の門出を、5年ぶりに全校児童が一堂に会してお祝いできることを、在校生と職員一同、大変楽しみにしています。この式は、在校生にとっては、進級に向けての自覚を高める大切な場となります。

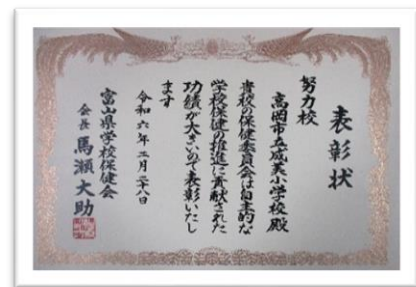
末筆となりますが、保護者、地域の皆様方には、今年度も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

令和5年度 児童生徒保健委員会表彰「努力校」受賞

本校の健康安全委員会は、令和5年度児童生徒保健委員会表彰で、「努力校」の表彰を受けることができました。

これは、本校の委員会活動の取組が高く評価され、富山県学校保健会からいただいたものです。この受賞を、児童と教職員一同、大変嬉しく思っています。

今後も、この表彰を誇りに、児童が主体的に取り組める教育活動を展開していきたいと思えます。



【表彰状】

